

5/23-24反戦・反核・三里塚闘争へ

起決 縦 はう!



82.5.21

No. 1049

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市曙町二一八(動力車会館)
(電話)二九三五・六八(急) 日五至 二七二〇七

全国にまきおこる反戦・反核の闘いを、三里塚二期阻止の闘いに合流させよう

五・二三反核東京行動へむけた全国のあらゆる職場・地域の取組みが活発に行われている。去る五月八日、動労千葉からも参加して開かれた五・二三反核東京行動実行委員会第二回全体会議には、三五三団体・四八〇名が出席し、当日参加予定人員を三七万人と発表した。アメリカ・レーガン政権の核戦争政策と鈴木自民党政府の改憲・核武装化・軍事大国化攻撃の強まりの中で、反戦・反核の声は、全世界で、なによりも日本で、もはや押しとどめようのない大きな闘いに発展しつつある。われわれは、この全国の労働者人民の反戦・反核の声と闘いを反戦・反核の若し三里塚闘争に大きく合流させ、五・二四、三里塚現地闘争をかちとり、二期工事着工阻止を闘いとりようではないか。

40

支配階級による 全面的な反動攻勢の強まり

(1) 第二臨調「行革」による 戦争体制づくりの攻撃

第二臨調は、七月基本答申にむけて、十七日の第四部会報告をかきりとして、各部会ことの報告がつきつきと出されようとしている。第二臨調攻撃の狙いは、これまで再三にわたって明らかにしてきたように、(1)支配体制のゆきづまりと危機を憲法改悪・軍事大国化・戦争と反動攻勢をもってのりきろうとするための国内支配体制の抜本的再編を強権をもってなしとげようとする攻撃。

(2) そのために、日本労働運動の戦闘的中軸をなす官公労運動、とりわけ、国鉄労働運動を「ヤミ・カラ・悪慣行」キャンペーン・既得権剥奪をもって解体・破壊しようとする攻撃。

(3) 国労・動労中央とりわけ、動労「本部」革マル反動分子の「働こう運動」に既得権返上運動や「正すべきは正す」なる屈服と協力路線をもって国鉄労働者の決起を圧殺しようとしている。

(4) しかし、全国の多くの国鉄労働者は、この国労・動労中央の圧殺策動をはねのけ、怒りの反撃を準備している。

(5) わが動労千葉は、六・五集会の圧倒的成功とこれを出発点とする総反撃へと全力で取組みを開始している。

(6) 国鉄労働者の総反撃一階級の激突はさけられない情勢にきている。

(2) 三里塚二期着工攻撃

昨年末以来の「話し合い」に反対同盟解体攻撃を完全に粉碎して闘い抜いている三里塚反対同盟に対し、今日、政府・公団は、成田用水事業・農地貸付けなど反対同盟解体・二期着工攻撃を一層強めている。

22

(3) 参院全国区廃止法案強行・改憲攻撃

自民党は、十九日、通常国会を八月二日まで「九四日間」にもおよぶ極めて異例な会期の大中延長を強行した。

参院全国区の廃止法案は、小選挙区制の導入へ道をひらき、自民党の安定多数・国会の三分の二勢力の確保・憲法改悪への地ならしをしようとする攻撃である。

この他、自衛隊の大巾増強・リムバック八二演習への参加・三自衛隊の統合演習などを強行し、独自の軍事力一核武装化へむけた攻撃を強めている。

このように、アメリカ・レーガン政権が軍拡・核戦争政策によって全世界を核戦争の危機へとまき込んでいく中で、日本の支配階級も軍事大国化・改憲・核武装をもって戦争と反動への道を突き進んでいる。

戦争と反動への道を許すな

今こそ、五・二三反核東京集会に大結集して、「戦争への道を許すな」「ヒロシマ・ナガサキ・ビキニをくりかえすな」の闘いをまき起こそう。

三里塚二期着工阻止・反戦・反核の闘い
五・二三(五・二四) 連続闘争に決起しよう。

5/23日 10時代々木公園
集合19時 8時40分
5/24日 正午 三浦地区公園
集合19時 10時 成田運動場

